



平成 28 年 12 月 12 日

各 位

会社名 日本カーバイド工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 松尾 時雄
(コード番号 4064 東証第 1 部)
問合せ先 経理部長 角田 尚久
(TEL 03-5462-8212)

(訂正)「平成 24 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 23 年 11 月 7 日に開示いたしました「平成 24 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯及び理由

訂正内容及び理由につきましては、本日公表の「決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 東 大

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社
コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河原塚 勝良
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 角田 尚久 TEL 03-5462-8212
四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	24,600	△6.0	1,319	△48.2	1,071	△56.2	482	△67.4
23年3月期第2四半期	26,176	21.3	2,546	272.6	2,447	315.9	1,479	582.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 557 百万円 (△46.7%) 23年3月期第2四半期 1,047 百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	7.07	—
23年3月期第2四半期	22.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	56,741	16,739	28.3
23年3月期	55,786	14,615	25.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 16,036 百万円 23年3月期 14,012 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	△3.0	2,600	△43.5	2,200	△50.0	1,100	△60.2	16.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	81,940,298株	23年3月期	66,990,298株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	53,646株	23年3月期	52,444株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	68,176,940株	23年3月期2Q	66,938,501株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年5月12日発表の通期連結業績予想を修正しております。
2. 本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する情報	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国を中心とした新興国では堅調な成長を維持しましたが、米国経済に強い減速感がみられ、また、欧州諸国の財政危機問題がさらに深刻化したことなどにより、景気の回復速度は緩やかなものとなりました。一方、わが国においては、東日本大震災に伴うサプライチェーンの混乱は解消されつつあるものの、急激な円高進行に伴う輸出の減少や原材料価格の高止まり懸念などにより、依然として、景気の先行き不透明感は払拭されないまま推移しました。

当社グループを取り巻く環境は、化学業界や電子部品業界においては、原材料価格の高騰による原価高に加え、液晶関連向け製品の需要の落ち込みなどもあり、全般的に厳しい状況で推移しました。一方、建設・建材関連業界においては、住宅着工戸数の回復や震災の影響で低下していた消費マインドの持ち直しなどにより順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は 246 億円 (前年同期比 6.0%減)、営業利益は 13 億 1 千 9 百万円 (前年同期比 48.2%減)、経常利益は 10 億 7 千 1 百万円 (前年同期比 56.2%減)、四半期純利益は 4 億 8 千 2 百万円 (前年同期比 67.4%減) となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間より、PT ALVINY INDONESIA を連結の範囲に含めております。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(化成品関連製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品などであります。

このうち、ファインケミカル製品は電子材料向けなどが低調となり、前年同期比減収となりました。メラミン樹脂関連製品は国内向けは堅調でしたが、海外向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。接着関連製品は光学関連分野向けが在庫調整などの影響を受け、前年同期比減収となりました。

以上により、化成品関連製品の売上高は 76 億 7 千 5 百万円と前年同期比 9 千 9 百万円 (1.3%減) の減収、セグメント利益は 7 億 4 百万円と前年同期比 3 億 4 千 5 百万円 (33.0%減) の減益となりました。

(フィルム・シート製品)

当該事業の主な取扱製品は、マーキングフィルム、ステッカー、再帰反射シート、包装用フィルムなどあります。

このうち、マーキングフィルムは国内向けは低調でしたが、海外向けが堅調に推移し、前年同期並となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が好調に推移し、前年同期比増収となりました。再帰反射シートは中国並びに欧米向けの低迷に加え、為替の影響もあり、前年同期比減収となりました。包装用フィルムは国内向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。

以上により、フィルム・シート製品の売上高は 74 億 8 千 1 百万円と前年同期比 2 千 9 百万円 (0.4%増) の増収、セグメント利益は 1 億 8 千 4 百万円と前年同期比 3 億 6 千 9 百万円 (66.7%減) の減益となりました。

(電子材料製品)

当該事業の主な取扱製品は、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などであります。

このうち、セラミック基板は液晶関連向けが振るわず、前年同期比減収となりました。プリント配線板は一部震災による影響に加え、情報関連向けが低迷したことにより、前年同期比減収となりました。

以上により、電子材料製品の売上高は39億1千6百万円と前年同期比18億7千万円(32.3%減)の減収、セグメント利益は1億2百万円と前年同期比6億7千9百万円(86.9%減)の減益となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などありますが、住宅着工戸数の回復などにより、販売は好調に推移し、前年同期比増収となりました。

以上により、建材関連の売上高は42億1千万円と前年同期比6億2千4百万円(17.4%増)の増収、セグメント利益は9千4百万円と前年同期比4千5百万円(88.0%増)の増益となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などであり、景気の緩やかな回復基調が鈍化したことにより受注高は減少したものの、工事の完工が増加し、販売は好調に推移したことにより、前年同期比増収となりました。

以上により、エンジニアリングの売上高は31億8千8百万円と前年同期比7億3千6百万円(30.0%増)の増収、セグメント利益は3億8百万円と前年同期比2億7千1百万円(728.9%増)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比9億5千4百万円増加し、567億4千1百万円となりました。

このうち、流動資産は、売上減に伴い受取手形及び売掛金が減少したものの、棚卸資産が増加したことなどにより、前期末比10億3千万円増加し、269億5千7百万円となりました。固定資産は、有形固定資産は増加したものの、投資その他の資産が減少したことなどにより、前期末比7千5百万円の減少となり、297億8千3百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前期末比11億6千9百万円減少し、400億1百万円となりました。

このうち、流動負債は、支払手形及び買掛金が減少したことなどにより、前期末比5億3千6百万円減少し、262億3百万円となりました。固定負債は、長期借入金の返済などにより、前期末比6億3千3百万円減少し、137億9千8百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、新株発行による増資や四半期純利益の計上などにより、前期末比21億2千4百万円増加し、167億3千9百万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末の25.1%から3.2ポイント改善し、28.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の回収が増加したことなどにより、20億7百万円の収入（前年同期は12億1千6百万円の収入）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより、13億7千4百万円の支出（前年同期は13億7千万円の支出）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、株式の発行による収入などにより、8億2千9百万円の収入（前年同期は3億1千6百万円の収入）となりました。この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前期末比15億4千万円増加して47億5千万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、欧州諸国の財政危機の深刻化による景気の低迷や、急激な円高の進行及び液晶関連向けを中心とした需要の落ち込みに加えて、タイ国の洪水によるステッカーなどの販売への影響が懸念され、当社グループを取り巻く環境は一層厳しさが増すものと予想しております。

このような認識のもと、平成23年5月12日に公表しました通期の業績予想を以下のとおり修正しております。

平成24年3月期 通期連結業績予想数値(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成23年5月12日発表)	56,000	3,800	3,600	2,000	29円88銭
今回修正予想(B)	51,000	2,600	2,200	1,100	16円13銭
増減額(B-A)	△ 5,000	△ 1,200	△ 1,400	△ 900	—
増減率(%)	△ 8.9	△ 31.6	△ 38.9	△ 45.0	—
前期(平成23年3月期)実績	<u>52,588</u>	<u>4,599</u>	<u>4,401</u>	<u>2,766</u>	<u>41円33銭</u>

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,670	4,850
受取手形及び売掛金	13,690	12,362
商品及び製品	4,374	5,260
仕掛品	1,476	1,630
原材料及び貯蔵品	1,661	1,685
その他	1,139	1,260
貸倒引当金	△85	△91
流動資産合計	25,927	26,957
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	5,423	5,870
土地	14,034	14,228
その他（純額）	6,128	6,073
有形固定資産合計	25,586	26,172
無形固定資産	412	411
投資その他の資産		
その他	4,068	3,399
貸倒引当金	△208	△200
投資その他の資産合計	3,860	3,199
固定資産合計	29,859	29,783
資産合計	55,786	56,741

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,844	9,647
短期借入金	12,967	13,065
1年内償還予定の社債	200	200
未払法人税等	276	252
賞与引当金	534	562
その他	2,916	2,476
流動負債合計	<u>26,739</u>	<u>26,203</u>
固定負債		
社債	200	—
長期借入金	6,684	6,247
退職給付引当金	2,463	2,570
役員退職慰労引当金	162	173
再評価に係る繰延税金負債	4,446	4,445
負ののれん	32	17
その他	441	342
固定負債合計	<u>14,431</u>	<u>13,798</u>
負債合計	<u>41,171</u>	<u>40,001</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,197	7,034
資本剰余金	1,567	2,404
利益剰余金	2,376	2,737
自己株式	△8	△8
株主資本合計	<u>10,133</u>	<u>12,167</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△294	△362
繰延ヘッジ損益	△18	△18
土地再評価差額金	6,381	6,378
為替換算調整勘定	△2,189	△2,127
その他の包括利益累計額合計	<u>3,879</u>	<u>3,869</u>
少数株主持分	<u>603</u>	<u>703</u>
純資産合計	<u>14,615</u>	<u>16,739</u>
負債純資産合計	<u>55,786</u>	<u>56,741</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	26,176	24,600
売上原価	18,707	18,169
売上総利益	7,468	6,430
販売費及び一般管理費	4,922	5,111
営業利益	2,546	1,319
営業外収益		
受取利息	23	37
受取配当金	60	33
その他	127	151
営業外収益合計	211	222
営業外費用		
支払利息	190	159
為替差損	44	218
その他	75	92
営業外費用合計	311	470
経常利益	2,447	1,071
特別利益		
固定資産売却益	12	11
投資有価証券等売却益	—	1
負ののれん発生益	—	5
貸倒引当金戻入額	9	—
特別利益合計	22	18
特別損失		
固定資産除却損	88	5
投資有価証券等評価損	1	4
減損損失	375	15
災害による損失	—	189
特別損失合計	465	214
税金等調整前四半期純利益	2,003	874
法人税、住民税及び事業税	503	268
法人税等調整額	△57	20
法人税等合計	445	288
少数株主損益調整前四半期純利益	1,558	585
少数株主利益	78	103
四半期純利益	1,479	482

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,558	585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110	△72
繰延ヘッジ損益	△18	0
為替換算調整勘定	△381	44
その他の包括利益合計	△511	△27
四半期包括利益	1,047	557
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	981	464
少数株主に係る四半期包括利益	66	93

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,003	874
減価償却費	1,102	1,177
減損損失	375	15
のれん償却額	△18	△14
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	87	100
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△6	10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	62	28
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	29	△5
受取利息及び受取配当金	△84	△71
支払利息	190	159
固定資産除却損	88	5
固定資産売却損益 (△は益)	△12	△11
投資有価証券等評価損益 (△は益)	1	4
投資有価証券等売却損益 (△は益)	—	△1
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,074	1,470
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△675	△838
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,300	△345
その他	444	△131
小計	1,815	2,428
利息及び配当金の受取額	89	86
利息の支払額	△205	△173
法人税等の支払額	△482	△334
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,216	2,007
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,361	△1,671
有形固定資産の売却による収入	22	20
投資有価証券等の取得による支出	△27	△74
投資有価証券等の売却による収入	0	4
貸付けによる支出	△153	△9
貸付金の回収による収入	15	7
その他	133	348
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,370	△1,374

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	9	409
長期借入れによる収入	3,800	1,000
長期借入金の返済による支出	△3,051	△1,765
社債の償還による支出	△300	△200
株式の発行による収入	—	1,672
配当金の支払額	—	△133
その他	△142	△154
財務活動によるキャッシュ・フロー	316	829
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	78	1,458
現金及び現金同等物の期首残高	3,592	3,210
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	81
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,671	4,750

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	7,773	7,451	5,786	3,580	1,939	26,531	△354	26,176
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	0	—	6	511	519	△519	—
計	7,775	7,452	5,786	3,587	2,451	27,051	△874	26,176
セグメント利益	1,050	552	781	50	37	2,470	△22	2,447

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額△354百万円には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額△342百万円及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高48百万円が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額△22百万円には、棚卸資産に係る未実現損益138百万円及び各セグメントに配分していない全社費用△123百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	7,674	7,481	3,916	4,207	2,433	25,711	<u>△1,111</u>	<u>24,600</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	0	—	3	755	759	△759	—
計	7,675	7,481	3,916	4,210	3,188	26,470	<u>△1,869</u>	<u>24,600</u>
セグメント利益	704	184	102	94	<u>308</u>	<u>1,393</u>	<u>△322</u>	<u>1,071</u>

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額△1,111百万円には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額△298百万円及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高△728百万円が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年9月14日を払込期日とする一般募集による新株式発行及び平成23年9月28日にオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当による新株式発行を実施いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本金及び資本準備金が836百万円それぞれ増加し、当第2四半期連結会計期間末における資本金が7,034百万円、資本剰余金が2,404百万円となっております。

(訂正前)



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社 上場取引所 東 大
コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河原塚 勝良
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 角田 尚久 TEL 03-5462-8212
四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	24,696	△5.7	1,438	△43.5	1,190	△51.4	609	△58.8
23年3月期第2四半期	26,176	21.3	2,546	272.6	2,447	315.9	1,479	582.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 685 百万円 (△34.6%) 23年3月期第2四半期 1,047 百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	8.94	—
23年3月期第2四半期	22.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	57,098	17,121	28.5
23年3月期	56,027	14,869	25.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 16,298 百万円 23年3月期 14,146 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	△2.9	2,600	△44.7	2,200	△51.2	1,100	△62.1	16.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	81,940,298株	23年3月期	66,990,298株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	53,646株	23年3月期	52,444株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	68,176,940株	23年3月期2Q	66,938,501株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年5月12日発表の通期連結業績予想を修正しております。
2. 本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する情報	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国を中心とした新興国では堅調な成長を維持しましたが、米国経済に強い減速感がみられ、また、欧州諸国の財政危機問題がさらに深刻化したことなどにより、景気の回復速度は緩やかなものとなりました。一方、わが国においては、東日本大震災に伴うサプライチェーンの混乱は解消されつつあるものの、急激な円高進行に伴う輸出の減少や原材料価格の高止まり懸念などにより、依然として、景気の先行き不透明感は払拭されないまま推移しました。

当社グループを取り巻く環境は、化学業界や電子部品業界においては、原材料価格の高騰による原価高に加え、液晶関連向け製品の需要の落ち込みなどもあり、全般的に厳しい状況で推移しました。一方、建設・建材関連業界においては、住宅着工戸数の回復や震災の影響で低下していた消費マインドの持ち直しなどにより順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は 246 億 9 千 6 百万円 (前年同期比 5.7%減)、営業利益は 14 億 3 千 8 百万円 (前年同期比 43.5%減)、経常利益は 11 億 9 千万円 (前年同期比 51.4%減)、四半期純利益は 6 億 9 百万円 (前年同期比 58.8%減) となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間より、PT ALVINY INDONESIA を連結の範囲に含めております。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(化成品関連製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品などであります。

このうち、ファインケミカル製品は電子材料向けなどが低調となり、前年同期比減収となりました。メラミン樹脂関連製品は国内向けは堅調でしたが、海外向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。接着関連製品は光学関連分野向けが在庫調整などの影響を受け、前年同期比減収となりました。

以上により、化成品関連製品の売上高は 76 億 7 千 5 百万円と前年同期比 9 千 9 百万円 (1.3%減) の減収、セグメント利益は 7 億 4 百万円と前年同期比 3 億 4 千 5 百万円 (33.0%減) の減益となりました。

(フィルム・シート製品)

当該事業の主な取扱製品は、マーキングフィルム、ステッカー、再帰反射シート、包装用フィルムなどあります。

このうち、マーキングフィルムは国内向けは低調でしたが、海外向けが堅調に推移し、前年同期並となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が好調に推移し、前年同期比増収となりました。再帰反射シートは中国並びに欧米向けの低迷に加え、為替の影響もあり、前年同期比減収となりました。包装用フィルムは国内向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。

以上により、フィルム・シート製品の売上高は 74 億 8 千 1 百万円と前年同期比 2 千 9 百万円 (0.4%増) の増収、セグメント利益は 1 億 8 千 4 百万円と前年同期比 3 億 6 千 9 百万円 (66.7%減) の減益となりました。

(電子材料製品)

当該事業の主な取扱製品は、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などです。

このうち、セラミック基板は液晶関連向けが振るわず、前年同期比減収となりました。プリント配線板は一部震災による影響に加え、情報関連向けが低迷したことにより、前年同期比減収となりました。

以上により、電子材料製品の売上高は39億1千6百万円と前年同期比18億7千万円(32.3%減)の減収、セグメント利益は1億2百万円と前年同期比6億7千9百万円(86.9%減)の減益となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などですが、住宅着工戸数の回復などにより、販売は好調に推移し、前年同期比増収となりました。

以上により、建材関連の売上高は42億1千万円と前年同期比6億2千4百万円(17.4%増)の増収、セグメント利益は9千4百万円と前年同期比4千5百万円(88.0%増)の増益となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などであり、景気の緩やかな回復基調が鈍化したことにより受注高は減少したものの、工事の完工が増加し、販売は好調に推移したことにより、前年同期比増収となりました。

以上により、エンジニアリングの売上高は31億8千8百万円と前年同期比7億3千6百万円(30.0%増)の増収、セグメント利益は2億6千4百万円と前年同期比2億2千7百万円(613.5%増)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比10億7千1百万円増加し、570億9千8百万円となりました。

このうち、流動資産は、売上減に伴い受取手形及び売掛金が減少したものの、棚卸資産が増加したことなどにより、前期末比11億3千5百万円増加し、271億2千7百万円となりました。固定資産は、有形固定資産は増加したものの、投資その他の資産が減少したことなどにより、前期末比6千3百万円の減少となり、299億7千1百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前期末比11億7千9百万円減少し、399億7千7百万円となりました。

このうち、流動負債は、支払手形及び買掛金が減少したことなどにより、前期末比5億4千6百万円減少し、261億7千9百万円となりました。固定負債は、長期借入金の返済などにより、前期末比6億3千3百万円減少し、137億9千8百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、新株発行による増資や四半期純利益の計上などにより、前期末比22億5千1百万円増加し、171億2千1百万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末の25.2%から3.3ポイント改善し、28.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の回収が増加したことなどにより、20億2千3百万円の収入（前年同期は12億1千6百万円の収入）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより、13億9千1百万円の支出（前年同期は13億7千万円の支出）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、株式の発行による収入などにより、8億2千9百万円の収入（前年同期は3億1千6百万円の収入）となりました。この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前期末比15億4千万円増加して47億5千万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、欧州諸国の財政危機の深刻化による景気の低迷や、急激な円高の進行及び液晶関連向けを中心とした需要の落ち込みに加えて、タイ国の洪水によるステッカーなどの販売への影響が懸念され、当社グループを取り巻く環境は一層厳しさが増すものと予想しております。

このような認識のもと、平成23年5月12日に公表しました通期の業績予想を以下のとおり修正しております。

平成24年3月期 通期連結業績予想数値(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成23年5月12日発表)	56,000	3,800	3,600	2,000	29円88銭
今回修正予想(B)	51,000	2,600	2,200	1,100	16円13銭
増減額(B-A)	△ 5,000	△ 1,200	△ 1,400	△ 900	—
増減率(%)	△ 8.9	△ 31.6	△ 38.9	△ 45.0	—
前期(平成23年3月期)実績	<u>52,529</u>	<u>4,705</u>	<u>4,506</u>	<u>2,900</u>	<u>43円33銭</u>

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,670	4,850
受取手形及び売掛金	<u>13,616</u>	<u>12,385</u>
商品及び製品	4,374	5,260
仕掛品	<u>1,517</u>	<u>1,676</u>
原材料及び貯蔵品	<u>1,757</u>	<u>1,786</u>
その他	1,139	1,260
貸倒引当金	<u>△85</u>	<u>△91</u>
流動資産合計	<u>25,992</u>	<u>27,127</u>
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	<u>5,439</u>	<u>5,899</u>
土地	14,034	14,228
その他（純額）	<u>6,139</u>	<u>6,085</u>
有形固定資産合計	<u>25,612</u>	<u>26,213</u>
無形固定資産		
	412	411
投資その他の資産		
その他	<u>4,217</u>	<u>3,546</u>
貸倒引当金	<u>△208</u>	<u>△200</u>
投資その他の資産合計	<u>4,008</u>	<u>3,346</u>
固定資産合計	<u>30,034</u>	<u>29,971</u>
資産合計	<u>56,027</u>	<u>57,098</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,844	9,647
短期借入金	12,967	13,065
1年内償還予定の社債	200	200
未払法人税等	276	241
賞与引当金	534	562
その他	2,902	2,462
流動負債合計	26,725	26,179
固定負債		
社債	200	—
長期借入金	6,684	6,247
退職給付引当金	2,463	2,570
役員退職慰労引当金	162	173
再評価に係る繰延税金負債	4,446	4,445
負ののれん	32	17
その他	441	342
固定負債合計	14,431	13,798
負債合計	41,157	39,977
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,197	7,034
資本剰余金	1,567	2,404
利益剰余金	2,510	2,998
自己株式	△8	△8
株主資本合計	10,267	12,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△294	△362
繰延ヘッジ損益	△18	△18
土地再評価差額金	6,381	6,378
為替換算調整勘定	△2,189	△2,127
その他の包括利益累計額合計	3,879	3,869
少数株主持分	723	823
純資産合計	14,869	17,121
負債純資産合計	56,027	57,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	26,176	24,696
売上原価	18,707	18,151
売上総利益	7,468	6,545
販売費及び一般管理費	4,922	5,106
営業利益	2,546	1,438
営業外収益		
受取利息	23	37
受取配当金	60	33
その他	127	151
営業外収益合計	211	222
営業外費用		
支払利息	190	159
為替差損	44	218
その他	75	92
営業外費用合計	311	470
経常利益	2,447	1,190
特別利益		
固定資産売却益	12	11
投資有価証券等売却益	—	1
負ののれん発生益	—	5
貸倒引当金戻入額	9	—
特別利益合計	22	18
特別損失		
固定資産除却損	88	5
投資有価証券等評価損	1	4
減損損失	375	15
災害による損失	—	189
特別損失合計	465	214
税金等調整前四半期純利益	2,003	993
法人税、住民税及び事業税	503	258
法人税等調整額	△57	22
法人税等合計	445	280
少数株主損益調整前四半期純利益	1,558	713
少数株主利益	78	103
四半期純利益	1,479	609

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,558	713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110	△72
繰延ヘッジ損益	△18	0
為替換算調整勘定	△381	44
その他の包括利益合計	△511	△27
四半期包括利益	1,047	685
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	981	591
少数株主に係る四半期包括利益	66	93

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,003	993
減価償却費	1,102	1,179
減損損失	375	15
のれん償却額	△18	△14
退職給付引当金の増減額(△は減少)	87	100
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6	10
賞与引当金の増減額(△は減少)	62	28
貸倒引当金の増減額(△は減少)	29	△5
受取利息及び受取配当金	△84	△71
支払利息	190	159
固定資産除却損	88	5
固定資産売却損益(△は益)	△12	△11
投資有価証券等評価損益(△は益)	1	4
投資有価証券等売却損益(△は益)	—	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△3,074	1,374
たな卸資産の増減額(△は増加)	△675	△846
仕入債務の増減額(△は減少)	1,300	△345
その他	444	△131
小計	1,815	2,444
利息及び配当金の受取額	89	86
利息の支払額	△205	△173
法人税等の支払額	△482	△334
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,216	2,023
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,361	△1,688
有形固定資産の売却による収入	22	20
投資有価証券等の取得による支出	△27	△74
投資有価証券等の売却による収入	0	4
貸付けによる支出	△153	△9
貸付金の回収による収入	15	7
その他	133	348
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,370	△1,391

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	9	409
長期借入れによる収入	3,800	1,000
長期借入金の返済による支出	△3,051	△1,765
社債の償還による支出	△300	△200
株式の発行による収入	—	1,672
配当金の支払額	—	△133
その他	△142	△154
財務活動によるキャッシュ・フロー	316	829
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	78	1,458
現金及び現金同等物の期首残高	3,592	3,210
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	81
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,671	4,750

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	7,773	7,451	5,786	3,580	1,939	26,531	△354	26,176
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	0	—	6	511	519	△519	—
計	7,775	7,452	5,786	3,587	2,451	27,051	△874	26,176
セグメント利益	1,050	552	781	50	37	2,470	△22	2,447

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額△354百万円には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額△342百万円及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高48百万円が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額△22百万円には、棚卸資産に係る未実現損益138百万円及び各セグメントに配分していない全社費用△123百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	7,674	7,481	3,916	4,207	2,433	25,711	<u>△1,015</u>	<u>24,696</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	0	—	3	755	759	△759	—
計	7,675	7,481	3,916	4,210	3,188	26,470	<u>△1,774</u>	<u>24,696</u>
セグメント利益	704	184	102	94	<u>264</u>	<u>1,349</u>	<u>△159</u>	<u>1,190</u>

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額△1,015百万円には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額△298百万円及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高△632百万円が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年9月14日を払込期日とする一般募集による新株式発行及び平成23年9月28日にオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当による新株式発行を実施いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本金及び資本準備金が836百万円それぞれ増加し、当第2四半期連結会計期間末における資本金が7,034百万円、資本剰余金が2,404百万円となっております。